

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

就労中の外来血液透析患者のプレゼンティーイズムと QOL に関する調査

2. 研究責任者(当院)

所属： リハビリテーション室

氏名：田畑吾樹

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：なし

代表名：なし

3. 分担研究者

所属：腎臓内科

氏名：藤井隆之

所属：リハビリテーション室

氏名：加藤木丈英、三嶽侑哉、大野隼汰

4. 研究対象者

2022 年 10 月 1 日～2027 年 10 月 31 日の間に聖隷佐倉市民病院において外来通院している血液透析患者

5. 研究の必要性

近年の本邦における血液透析患者の増加に伴って、就労中の血液透析患者数も増加していると考えられる。「2016 年度血液透析患者実態調査報告書」によると、18 歳から 98 歳までの血液透析患者の未就労者は 66.3%と 6 割以上であったと報告されている。さらに、血液透析患者は離職のリスクが高いことも報告されており、透析患者は透析治療や疾病管理、疲労感、身体機能の低下、精神心理症状など、就労の継続のための様々な問題を有していると考えられる。医療者は、血液透析患者の QOL 向上のために、透析管理や合併症予防のみならず就労の困難さもケアする必要がある。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

後ろ向きコホート研究であり、日常診療にて収集した情報のみを使用するため、本研究によって生じる個人への影響はないと考えられます。

今回の検討により医学上の貢献の予測としては、身体機能の評価を行うことで、転倒や入院等の予後予測につながることで、早期にリスクが高い患者を抽出でき他職種で予防に取り組むことが可能となると考えられる。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151（代表）

担当者氏名：田畑吾樹

対応時間：8:30－17:00